

## JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	インドネシア、ジョグジャカルタ、チョデ川の居住者と周辺事業者のフットパス・コースの作成プロジェクト
2. 活動国・地域	インドネシア国、ジョグジャカルタ特別州、ジョグジャカルタ市 チョデ川沿いの居住地とその周辺地域
3. 事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	チョデ川沿いの居住者と周辺事業者がともにフットパス・コースを作成することを通じて、顔の見える関係性が構築される
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	対象地は周辺の開発エリアとの間に社会・空間的な隔たりがあり、災害時の相互協力体制が不十分である。また、カンポン・ウィサタが推進されるなかで外的な評価を意識した居住空間の変容が起きており、本来の暮らしの魅力が失われかけている。居住者は周辺の観光業の発展に乗じて自らのビジネス機会を獲得したい、過去の地震や火山噴火の経験から、災害/緊急時における備え方を身に付けたいと考えている。
6. 事業の意義・目的	対象地において、カンポンの魅力再発見と防災意識の向上を目指す。具体的には、過年度に考案したワークショップ手法を用い、居住者や周辺事業者（ホテル等）とまちあるき・ワークショップを実施する。また、ありのままの魅力を活かしたカンポン・ウィサタを推進するため、外部の事業者や観光客へ向けた魅力発信コンテンツの情報整理とアーカイブ化を行う。
7. 主な対象者（受益者）	直接受益者：合計 35 名程度。 チョデ川周辺の居住者（カンポンの住民）および周辺の事業者
8. 実施期間	（西暦）2026年 2月～ 2027年 2月
9. 活動内容	1. チョデ川の対象カンポンの選定と活動に賛同する事業者の抽出 2. チョデ川の魅力発見と防災意識向上のワークショップ実施 (1) チョデ川周辺の事業者への周知・参加依頼 (2) フットパス・コースの検討ワークショップ (3) フットパス・コースのモニターツアー 3. ワorkshop結果についての参加者へのフィードバック
9. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	一般社団法人 SOWER
2. 主な活動内容	・インドネシア：防災意識向上と地域コミュニティのオーナーシップを高めるフィールドワークや仕組みづくりの事業 ・熊本県内：多文化共生に関する事業やイベントの運営